

議事概要記録

開催日時	平成 25 年 7 月 20 日 12 時 30 分～13 時 00 分	開催場所	紀州路みなべ 2 階コンベンションホール
会議種別	平成 25 年度 第 3 回理事会	議 長	畑 忠良
		書 記	田中 規仁
出席者 〈敬称略〉	竹中 正人、畑 忠良、大石 博晃、田中 規仁、木下 博之、 蓬台 克之、脇村 小津江、須賀 洋、瀧谷 雅彦、瀧口 良重、今西 数彦、 丸澤 佳子、村田 正吾、勝山 浩樹 14名		
欠席者 〈敬称略〉	玉置 達紀、田中 久晴、村田 正吾 3名	オブザーバー	
次 第			
議事概要	<p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 会長報告（代読） 2. 第 2 回常務理事会報告 3. 事務局報告 4. 学術部報告 5. 経理部報告 6. 第 35 回和歌山県医学検査学会進捗報告 7. 各種委員会報告 <ul style="list-style-type: none"> (ア) 公益事業活動 (イ) 定款・渉外 (ウ) 精度管理 (エ) データ標準化 (オ) 会誌編集 (カ) ホームページ (キ) 会報 8. 連盟 9. その他 <p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 表彰審査委員会から 2. 全国 検査と健康展について 3. 精度管理委員会から 4. 事務局から 5. 病院協会学術大会・日臨技公益事業（AIDS イベント）について 6. その他 		
決議事項 及び 継続事項	<p>畑副会長より、理事会開催宣言があり、玉置会長が近畿支部幹事会出席のため欠席であることが伝えられた。 引き続き、竹中副会長より挨拶があった。</p> <p>報告事項</p> <p>会長報告（竹中副会長代読） 「検査と健康展」について、日臨技が 11 月に全国同時開催する「検査と健康展」実施に対し、担当の津田執行理事に意見を申し入れた。計画性が乏しい事、各技師会、会員に対し十分な説明と理解が得られていない事を伝えた。日臨技からは全国展開したい旨と、今後も継続事業として実施していきたいので協力してほしいとの事であった。</p> <p>支部表彰規定の作成 7 月 2 日(火)について 概略</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 表彰名は「学術奨励賞」とし、功労者表彰は対象としない。 ② 表彰者名は支部長名 ③ 受賞者は 3 名以内とし、副賞は 1 万円とする。 		

④ その他

・対象年齢は35歳未満のままにしましたが、その他として支部の裁量も残しました。
→副井学会での表彰については、従来要項でやりたい旨を伝えた。

TPP（医療）導入について意見要請（期日間近）7月5日（月）があった。

県の医療推進協議会でも決意表明した経緯もあるため、和臨技として導入に反対した。

福島県における甲状腺検査への技師派遣についての協力要請（期日間近）7月8日（金）

派遣者の待遇が不明であり、費用等当会持ちであるため、当会からは派遣できる人材がいないと報告した。

認定心電技師制度の対応について

今後、日臨技、心電学会どちらでやるのか不明瞭である。近畿支部会議で確認する。
和臨技としては、日臨技からの通達内容は、当該資格試験・更新については日臨技が責任をもって執行するというものであるが、本通達は各都道府県会長のみであって、有資格者並びに日臨技会員には何ら周知されていないので、近畿支部で意見集約した後に日臨技に厳しく意見を申し入れる方向で進んでいます。

支部・近臨技関連について

7月14日（日）奈良臨技元会長 山中 亨氏の瑞宝双光章受章祝賀会出席（奈良市）に出席、

7月20日（土）関西支部幹事会・近臨技合同会議出席（大臨技事務所）

県病院協会

6月19日（火）第18回和歌山県病院協会学術大会第1回運営委員会出席（ビック愛）

（決定事項）

会期は平成25年11月23日（土）アバローム紀の国、学会テーマは災害に関するテーマ（仮）、メディカル・スタッフ団体シンポジウムは「テーマ：災害に関するテーマ（仮）、発表担当団体は栄養士会・病院薬剤師会・看護協会・臨床工学士・県の5団体で和臨技は今年度担当はなし。和臨技としては公益事業担当者に事業内容（例えばHIV/AIDS+STI啓発事業、ピンクリボン活動など）を一般演題としてアピールしてほしい。しかし、同日日には和歌山大学で行われるエイズイベントと日が重なるため、来年以降に発表出来る様に準備を進めてほしい。

6月19日（火）メディカル・スタッフ団体会長と病院協会会長との懇談会があった。

・今後の病院大会の開催について、2年に一度開催しているが、予算（表彰費用、懇親会等）的に厳しくなってきているので、各病院への負担金の増額も検討する必要があるとの事です。

・多職種協働による在宅医療推進研修について、県が地域保健医療計画の中で多職種協働による在宅医療推進プロジェクトチームの設置を考えている。今後5回の研修会を開催するので、技師会からも動員する必要があると思われる。

・メディカル・スタッフ部門への功労賞（知事感謝状に値する）の設置について、成川会長の計らいで知事に交渉し、実現する方向で進んでいる。後日、知事に対して各団体の会長と表敬に赴きます。

7月2日（火）平成25年度「知事とメディカル・スタッフ団体及び病院協会会長との懇談会」（アバローム紀の国）竹中副会長と出席。県の担当者より以下の平成25年度医療政策について説明を受けた。

○第六次保健医療計画の説明

○和歌山県地域医療再生計画の概略の説明

・災害医療対策の強化

・在宅医療の推進

・医師確保対策

技師会からの要望・報告として、

① 現在、県と共催している和太祭でのVCTとミニレクチャーについて本年も実施したい。希望日は11月24日（日）としたが、最終的に11月23日（土）に決定した。

- ② 県や周辺自治体が後援するピンクリボン啓発事業について、本年も本宮と紀三井寺で実施したい。
- ③ 在宅医療について、在宅における臨床検査の需要は今後認識され、増えてくると予測される。いわゆるPOCTという臨床検査であり、検体検査・生理機能検査も含まれる。臨床検査の操作・マニュアル・精度管理・データ管理は、臨床検査技師の業務であり、今後この分野においても関わる必要性があると考えます。

第2回常務理事会報告

- ① 表彰審査委員会から表彰状レイアウト等について
- ② 学術部各種委員名簿 JAMTIS 変更について
- ③ 和歌山県病院協会学術集会について
- ④ 日臨技「全国 検査と健康展」について
- ⑤ 認定心電技師について
- ⑥ 福島県への甲状腺エコー検査派遣要請ならびに甲状腺エコー講習会について
(詳細は会議録を参照)

事務局報告

総務

5月27日に精度保証施設認証1000施設目標の依頼が日臨技山本執行理事から有りました。

6月18日に平成25年度日臨技近畿支部医学検査学会(第53回)一般演題座長候補推薦依頼を53回近畿支部学会事務局に答申しました。

6月20日に全国 検査と健康展についての開催要請が正式に日臨技から有りました。

7月8日 認定心電技師制度の進捗報告と、福島県における甲状腺検査派遣依頼が日臨技より有りました。同日、TPP参加交渉に係る和臨技としての意見陳述の要請が日臨技を通してあり、反対意見を申し入れました。

その他に、一般社団法人移行の挨拶として、石川県臨技・静岡県臨技・神奈川県技師会・鳥取県臨技・和歌山県歯科衛生士会より有り、また役員改選の挨拶として新潟県臨技と千葉県臨技から、舟底和歌山県放射線技師会会長の退任挨拶がありました。

学術部報告

表彰審査委員会から 表彰状(会長賞・学術奨励賞)について

標記並びに文面が分かりにくいという意見があった。会長賞等の賞名を分かりやすい位置に標記レイアウトを変更する事、並びに賞状サイズが小さいため、額縁に収まらないので、サイズを大きくする事の、2点について審議旨の報告があった。

知事感謝状について

今年度は、村田前会長を和臨技から推薦する事となった。

和臨技学術部の役員名が古いままと指摘があった為、早急に訂正するように要請したと報告があった。

日臨技推進事業について

20事業のうち15事業が承認。11事業がすでに終了し、7事業は報告書作成・申請済みと報告があった。昨年度は一律支給であったが、今年度からは実費支給のため、相当額に助成金が減額される見込みである。

第53回近畿支部学会座長推薦について

平成25年度日臨技近畿支部医学検査学会(第53回)一般演題座長候補推薦依頼を、事務局を通じて福井県の53回近畿支部学会事務局に答申しました。

和臨技ホームページについて

和臨技オリエンテーション・学術部ミニレクチャーのスライドを掲載しました。この第16回学術部一泊合同研修会について、研修会参加者45名、症例検討参加32名、宿泊者39名で行います。症例検討は一般検査部門 鈴木恭子技師と微生物検査部門 中家歩美技師より出題します。また、臨床講演には「大腸癌治療の現状」として社会保険紀南病院 外科 藤田繁雄 先生よりご講演賜ります。

経理部報告

日臨技から、平成 24 年度日臨技関西支部学会（第 52 回）災害学会に対する補填金としての約 120 万円について、次回の近畿支部学会向けの準備積立金（特別会計）に繰り入れます。近畿支部学会といえども、準備金が日臨技から与えられるわけではなく、準備金として担保しておく必要が有るために、学会準備金として積み立てていきます。第 35 回和歌山県医学県医学検査学会準備金として 20 万円、須賀学会長に委託しました。

第 35 回和歌山県医学検査学会進捗報告

第 1 回実行委員会を行った。会期は平成 26 年 3 月 2 日(土)3 日(日)、会場は熊野の宿 椰(なぎ) 和歌山県東牟婁郡那智勝浦町を予定。学会役員は、学会長に須賀 洋、実行委員長に石田 茂己、事務局長に葛原 和紀、会計に大江 孝之です。その他の実行委員 7 名（遠山豊克・内田吉央・上田浩・山本晃生・葛原真知子・洞口三鈴・岡本由美香）は未だ流動的ですが、ほぼ決定です。実行委員会からの要望として、三重県の紀南病院より三重県会員を招聘したいとの申し入れがあった。

次回 8 月 24 日に第 2 回実行委員会を予定、細かい担当の決定と、テーマ名・ランチョン・講演会や特別講演の企画立案を予定しています。

須賀学会長が病氣療養に入るため、しばらくの間は石田実行委員長が代理で実行委員会の運営を進めていくと報告が有った。また、病氣療養とはいえ、大きな穴を開けてしまうことを非常に申し訳なく思うとお詫びの言葉が有った。

○玉置会長からの伝言として

和歌山学会の企画運営についてはその都度、理事会承認を仰いで頂きたい。次回の理事会(9 月 29 日)にて審議に掛けないと、今後のスケジュールに間に合わない危険性がある。よって、今後の実行委員会での決定事項は逐次理事会で報告できるよう調整して頂きたい。

また、東洋羽毛から展示スペース(有料で)を提供して頂きたいと要望があったので、前向きに検討して頂きたい。

○その他審議として、

学会誌の広告募集については、すでに事務局から募集の発信済みであるため、学会事務局側からの公文書での募集は差し控えてください（事務局と申込リストを共有し、申込がない企業に対して口頭でお願いしてください）。

企業担当者が、申込書が手元に無いため再度欲しいという場合等は、写しを事務局から渡す等の対応はさせていただきます。

三重県技師会員に対し、実行委員に招聘する事には難しいのではないかと。本学会は紀南南ブロックが運営する事ではあるが、紀南北ブロックも同様に運営に参加すれば、わざわざ他府県技師会に要請する必要はない。また、地区だけの問題でなく、三重県技師会に対して、和臨技から正式に（組織から組織に）派遣要請する必要があるため、基本的には認められない。

各種委員会報告

公益事業活動 がん

ピンクリボン in 和歌山から

10 月 5 日にイベント開催予定。例年のお手伝いに加え、和臨技ブースを設置し、乳房のしこり模型を使った啓発活動を行う。パートナーが発見する事も多い事を前面に出し、男性にも模型を触ってもらい乳がん早期発見の一助になる啓発を行っていく。

ピンクリボン紀南 2013

10 月 13 日で開催予定です。

公益事業活動 STI

6 月 16 日ビック愛会議室で第 1 回 HIV/エイズと性感染症エデュケーター養成講座が開催された。参加人数は 17 名、和医大血液内科准教授 園木先生の講義や、疫学等の講習会があった。次回は 7 月 28 日開催予定です。

世界エイズデーに向けて、平成 25 年 11 月 23 日（土）和歌山大学構内にて VCT やミニ講演会を予定。ミニ講演会のテーマや内容については今後つめて行き、講師に付いて

は、HIV 研修会の受講者にを考えています。

公益事業活動 医療セミナー in わかやま

予定として、11月9日 日高病院講堂を予定しています。日高病院精神科部長 北端裕司先生に認知症について講義をお願いしていますが、事情が変わり只今ペンディング中で非常に流動的です。

また、エーザイが、講演は出来ないが当日のお手伝いや認知症意識向上啓発グッズの配布等の協力は可能と言う事です。

定款・渉外

特にありません。

精度管理

6月1日に第1回精度管理委員会を開催し、和臨技サーベイのスケジュール案について検討しました。予定では8月9日に申し込み締め切り、10月27日に試料発送予定です。

データ標準化

6月下旬にデータ標準化基幹病院向けに特定試料が発送され、順次測定を終えています。7月10日第1次標準物質が届き、8月末には血液ガスの試料が届く予定です。

日臨技から精度保証施設認証1000施設を目標にしていると報告と認証施設取得の要請があった。

勝山監事発言

費用対効果（2年5万円）が見えないため、病院としては静観するという結論になった。

今西担当理事

日臨技は1000施設を目標に掲げ、それを元に付加価値を得るように国に働き掛けていくようだ。

会誌編集

5月31日に編集委員の会議を行い、編集方法について検討した。院内感染対策講習会、医療安全対策講習会、学部部一泊合同研修会等の参加体験手記は項数削減を目的に和臨技ホームページのみで、会誌掲載しない方向で考えている。また、会誌サイズはA4で有る事は既に理事会決定されています。

予算的には、A4拡大による紙代だけの値上げと、項数削減によるコスト削減で、例年通りに収まるだろうとの事。また 原稿記載規定は学部部からの指導に則って進めて行きます。

ホームページ

精度管理事業・公益事業活動等の紹介や事業内容、今後の予定等をホームページにアップしていきたい。情報の提供をお願いします。

また、訪問者カウンターを新規設置しました。

会報

最新号が出来ました。

連盟

参議院選挙が明日行われます。

行事予定表から

今現在、8企業から月刊行事予定表の予広告申込みがあった。（12か月分として）残り4企業なので各社に声掛けの協力要請があった。また、次年度に向け、新たな付加価値を見出した新しい広告形式を近日中に提案したい。

審議事項**表彰審査委員会から**

報告事項で説明した時に承認を得られました。

全国 検査と健康展について

報告事項で説明した時に承認を得られました。補足として、検査展実行委員を会長と事務局で人選させていただきます。医療セミナーinわかやまと同日開催なので、公益事業担当者以外からの人選になります。

精度管理委員会から

和臨技コントロールサーベイにて、外れ値を報告してきた施設へのフォローアップや再サーベイを今後実施していきたい。再サーベイ用に余剰試料を購入する必要性が有る事から若干、予算をオーバーするかもしれない。

再サーベイを含めた計画と予算案を次回の理事会で継続審議する事となった。

事務局から

読売新聞9月がん月間紙面に向けた技師会広告の要請が有りました。乳がんはじめ、がん抑止の啓発活動は和臨技公益事業活動の大きな目的なので、掲載しても良いのではないか。

病院協会学術大会・日臨技公益事業（AIDS イベント）について

報告事項で説明した時に承認を得られました。

記録作成	平成 25 年 8 月 5 日	氏 名	田中 規仁	提 出	平成 25 年 8 月 5 日
------	-----------------	-----	-------	-----	-----------------

※ 諮問委員会で「報告書」が提出される場合、「委員会議事録」が別途作成添付される場合は添付資料で可